

# 連合会の歴史と再生可能エネルギーを学ぶ

平成 26 年 4 月 22 日～23 日、「連合会の歴史と再生可能エネルギーを学ぶ」というテーマで青年部研修が開催されました。

本研修は、施設見学として再生可能エネルギーのメガソーラー発電所の視察。座学として、青年部の根幹であります一般廃棄物連合会の歴史、ならびに浄化槽ビジネスの事例発表を学びました。

メンバーは、西野則之部長、総務委員会の西野日出夫副部長、教育委員会の加藤副部長、奥澤委員長、長谷川副委員長、石井さん、会員交流委員会の神原副部長、大山委員長、八重樫副委員長、事業委員会の大村副部長、中根委員長、原副委員長、大澤さん、笹沼さん、安川さん、小嶋さんが参加しました。

一日目は、群馬県の新井村役場にて、ソフトバンク新井ソーラーパークという太陽光発電所を見学しました。



その後、伊香保のホテルに移動し、講演会が行われました。まずは、新埼玉環境センター株式会社の小田正氏から「嵐山町浄化槽 PFI 事業について」話されました。  
次に、当連合会の斉藤実副理事長から「一般廃棄物連合会の歴史」について話されました。



その後、懇親会が行われ親睦をはかりました。

2日目は、渋川市にある北進重機株式会社に行き、木質バイオマスリサイクル施設を見学しました。



2日間の研修で一番印象に残ったことは、研修内で「東日本大震災にて、自衛隊が援助に来た時、道路事情に詳しい地元の廃棄物処理業者が活躍したそうです。

我々の仕事は、地元のライフラインと切っても切れない関係である」という話を聞き、感銘を受けました。

改めて我々の仕事の社会的意義と重要性を見直す機会を得ました。